

【クラブ活動報告】

堺7ロータリークラブ 新春合同例会・互礼会

堺7ロータリークラブ2024年新春合同例会・互礼会が、堺清陵ロータリクラブの吉川会長、ならびに、鈴木ソングリーダーのもと、元気に行われました。

今年の例会は、能登半島・翌日の羽田空港での航空機事故を受け、新年おめでとう、乾杯の言葉は禁句となりました。



冒頭、地区ガバナー谷 宗光様から「1月1日の能登半島地震が起きた直後、まだ、被害状況が分かっていない状況で、瞬時に、ロータリーの仲間に連絡を取って、物資を集め、金沢のロータリアンと連携を取り、行動を起こし、今なお、支援活動を行っている。東北地震の教訓を活かし、ロータリーとして行動を取っている」とあいさつがありました。

次にゲストスピーカーで元阪神タイガース岩田稔様からは、高校生の時に、一型糖尿病と言う事が分かって、それ以来、目標や逆境に負けず、不屈の闘志のお話がありました。岩田様は、一型糖尿病を克服して、野球界で輝いた事で有名な選手です。同じ病気で苦しんでいる子供達に勇気を与える、とても、素晴らしい生き方をされています。

続いて、堺清陵ロータリクラブ吉川会長からは、4年近く続いた、コロナ感染症が、2類から5類に変わった事や、大谷選手が活躍する明るいニュースから、長期化する、ロシアのウクライナ侵攻・イスラエルパレスチナにおける抗争など、明るいニュース、暗いニュースが有る中で、竜頭蛇尾に終わらせない。画竜点睛を欠くことなくもてる力を存分に発揮して飛躍する一年にしたいと言う、元気を頂ける言葉で締めくくられました。



どの話しも、人に元気と勇気を与える年の初めのお話しに相応しいとても有り難いお話しでした。参加者との交流も楽しめる貴重な機会です。

今後も、ロータリーの活動に参加して、自己成長や社会貢献に繋がる場に、積極的に関わって行きたいと思います。



最後に、例会の運営も非常にスムーズで、司会進行も分かりやすく、時間通りに進んでいた為安心して聴講する事が出来ました。

堺清陵ロータリクラブ 楠本俊彦